

2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年2月6日

上場会社名 JSR株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4185 URL <https://www.jsr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) エリック ジョンソン
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 武田 佳子 TEL 03(6218)3517
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）
（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	312,956	22.0	31,511	△25.5	32,228	△23.5	19,486	△47.9	19,619	△44.5	30,870	△32.4
2022年3月期第3四半期	256,594	14.7	42,289	45.0	42,101	58.5	37,411	454.3	35,372	430.0	45,632	497.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	93.73	93.63
2022年3月期第3四半期	164.52	164.30

（参考）税引前四半期利益 2023年3月期第3四半期 33,286百万円（△22.8%） 2022年3月期第3四半期 43,139百万円（79.7%）

（注）コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出しております。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	695,714	387,040	362,314	52.1	1,745.54
2022年3月期	809,371	414,739	376,011	46.5	1,748.25

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	35.00	-	35.00	70.00
2023年3月期	-	35.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	35.00	70.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	411,000	20.5	34,000	△21.5	34,500	△21.2	24,000	△39.1	24,000	△35.7	115.63

（参考）税引前当期利益 通期 34,500百万円

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

（注）コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）JSR BST Elastomer Co., Ltd.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	208,400,000株	2022年3月期	226,126,145株
2023年3月期3Q	834,738株	2022年3月期	11,047,900株
2023年3月期3Q	209,304,298株	2022年3月期3Q	214,997,323株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

2023年2月6日（月）に、決算説明資料を当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報)	9
(追加情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日から同年12月31日）の概況

当社グループの主要な需要業界の動向は、半導体市場はデータセンターや自動車向けをはじめとした需要により堅調に推移してきましたが、当第3四半期連結会計期間に入り顧客での生産調整の動きが顕著となり需要が減少しております。フラットパネルディスプレイ市場は新型コロナウイルス感染拡大による巣ごもり需要等からの反動でパネル市況の低迷が続いておりましたが、在庫水準適正化に伴い第2四半期連結会計期間を底に緩やかに回復の傾向が見られます。バイオ医薬品市場は引き続き高い成長となりました。

このような中、デジタルソリューション事業では、半導体材料事業において最先端技術に対応した製品の拡販を、ディスプレイ材料事業では引き続き成長が期待される中国市場において競争力のある製品を中心に拡販を進めました。ライフサイエンス事業では、米国の統括会社が当該事業全体の戦略を主導し、バイオ医薬品の開発・製造受託（CDMO事業）、医薬品の開発受託（CRO事業）を中心に拡大に努め売上収益が増加しました。合成樹脂事業では、引き続き戦略製品の拡販を進めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上収益は3,129億56百万円（前年同期比22.0%増）、コア営業利益315億11百万円（同25.5%減）となりました。

（単位：百万円）

区分	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上収益						
デジタルソリューション事業	123,289	48.0%	135,075	43.2%	11,786	9.6%
ライフサイエンス事業	53,320	20.8%	93,047	29.7%	39,728	74.5%
合成樹脂事業	70,664	27.6%	72,250	23.1%	1,586	2.2%
その他事業	9,322	3.6%	12,583	4.0%	3,262	35.0%
調整額	△0	△0.0%	—	—%	0	—%
合計	256,594	100.0%	312,956	100.0%	56,362	22.0%

国内売上収益	84,987	33.1%	112,701	36.0%	27,714	32.6%
海外売上収益	171,607	66.9%	200,255	64.0%	28,648	16.7%

区分	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		増減	
	金額	売上収益比	金額	売上収益比	金額	比率
コア営業利益	42,289	16.5%	31,511	10.1%	△10,778	△25.5%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	35,372	13.8%	19,619	6.3%	△15,753	△44.5%

① デジタルソリューション事業部門

デジタルソリューション事業につきましては、堅調な半導体市場を背景とした販売拡大及び為替が円安に推移したことにより売上収益は前年同期を上回りました。

コア営業利益は、フラットパネルディスプレイ市場の停滞、先行投資の増加、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を契機とする原油価格の高騰による原料代や輸送費の高騰、前年同期に発生したInpria Corporationの完全子会社化による再評価益の剥落等により、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のデジタルソリューション事業部門の売上収益は前年同期比9.6%増の1,350億75百万円、コア営業利益は前年同期比26.5%減の266億92百万円となりました。

② ライフサイエンス事業部門

ライフサイエンス事業につきましては、主にCDMO事業、CRO事業の販売拡大、診断薬事業の好調及び為替が円安に推移したことにより売上収益は前年同期を上回りました。

コア営業利益は、CDMO事業を行う当社グループのKBI Biopharma, Inc.での新工場の立ち上げに伴う費用の増加等はあるものの、株式会社医学生物学研究所(MBL)での新型コロナウイルス抗原検査キットの販売が好調に推移し、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のライフサイエンス事業部門の売上収益は前年同期比74.5%増の930億47百万円、コア営業利益は前年同期比74.2%増の66億89百万円となりました。

③ 合成樹脂事業部門

合成樹脂事業につきましては、主な対面市場である自動車市場が回復傾向にあり、販売価格の改定も寄与し、売上収益は前年同期をやや上回りました。

コア営業利益は、原料価格の上昇に伴う売買スプレッドの悪化により、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の合成樹脂事業部門の売上収益は前年同期比2.2%増の722億50百万円、コア営業利益は前年同期比74.6%減の12億81百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年8月1日の「2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	45,567	70,493
営業債権及びその他の債権	76,106	97,875
棚卸資産	104,934	116,959
その他の金融資産	1,289	3,807
その他の流動資産	17,807	24,297
小計	245,704	313,431
売却目的保有に分類される処分グループに係る 資産	191,298	—
流動資産合計	437,002	313,431
非流動資産		
有形固定資産	159,539	165,522
のれん	117,640	126,991
その他の無形資産	24,571	26,618
持分法で会計処理されている投資	2,984	3,564
退職給付に係る資産	5,192	4,451
その他の金融資産	31,408	32,046
その他の非流動資産	2,830	3,154
繰延税金資産	28,205	19,936
非流動資産合計	372,369	382,283
資産合計	809,371	695,714

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	63,548	79,497
契約負債	12,824	26,306
社債及び借入金	69,170	68,409
未払法人所得税	13,479	2,587
引当金	2,718	731
その他の金融負債	3,489	3,283
その他の流動負債	7,461	7,318
小計	172,689	188,131
売却目的保有に分類される処分グループに係る負債	115,576	—
流動負債合計	288,265	188,131
非流動負債		
契約負債	11,582	3,366
社債及び借入金	48,737	70,687
退職給付に係る負債	10,278	10,659
引当金	8,033	8,064
その他の金融負債	17,795	18,183
その他の非流動負債	4,809	4,154
繰延税金負債	5,133	5,431
非流動負債合計	106,366	120,544
負債合計	394,631	308,674
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	23,370	23,370
資本剰余金	11,799	11,630
利益剰余金	333,335	291,801
自己株式	△18,874	△2,162
その他の資本の構成要素	26,381	37,675
親会社の所有者に帰属する持分合計	376,011	362,314
非支配持分	38,728	24,726
資本合計	414,739	387,040
負債及び資本合計	809,371	695,714

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
継続事業		
売上収益	256,594	312,956
売上原価	△159,252	△201,268
売上総利益	97,342	111,688
販売費及び一般管理費	△62,756	△80,794
その他の営業収益	9,733	3,002
その他の営業費用	△2,194	△1,723
持分法による投資損益	△25	55
営業利益	42,101	32,228
金融収益	2,255	3,522
金融費用	△1,217	△2,463
税引前四半期利益	43,139	33,286
法人所得税	△9,414	△13,800
継続事業からの四半期利益	33,725	19,486
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益	3,686	—
四半期利益	37,411	19,486
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	35,372	19,619
非支配持分	2,039	△133
合計	37,411	19,486
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	164.52	93.73
継続事業	146.80	93.73
非継続事業	17.72	—
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	164.30	93.63
継続事業	146.61	93.63
非継続事業	17.69	—

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	37,411	19,486
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動額	1,480	△224
確定給付負債(資産)の再測定額	211	30
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△2	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動額	18	5
在外営業活動体の換算差額	5,962	10,992
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	553	581
税引後その他の包括利益合計	8,221	11,384
四半期包括利益合計	45,632	30,870
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	43,805	30,575
非支配持分	1,827	295
合計	45,632	30,870

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2021年4月1日残高	23,370	11,562	302,916	△19,202	15,348	333,995	36,741	370,736
四半期利益			35,372			35,372	2,039	37,411
その他の包括利益					8,433	8,433	△212	8,221
四半期包括利益合計	—	—	35,372	—	8,433	43,805	1,827	45,632
株式報酬取引		328		248	△196	380		380
配当金			△13,975			△13,975	△1,127	△15,102
自己株式の変動		△12		54		42		42
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			7,637		△7,637	—		—
子会社株式の売却による変動		34				34	133	167
その他の増減額		△6				△6		△6
所有者との取引額等合計	—	343	△6,337	302	△7,833	△13,525	△994	△14,519
2021年12月31日残高	23,370	11,906	331,950	△18,900	15,948	364,275	37,574	401,849

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2022年4月1日残高	23,370	11,799	333,335	△18,874	26,381	376,011	38,728	414,739
四半期利益			19,619			19,619	△133	19,486
その他の包括利益					10,956	10,956	428	11,384
四半期包括利益合計	—	—	19,619	—	10,956	30,575	295	30,870
株式報酬取引		379		371	△138	613		613
配当金			△14,793			△14,793	△779	△15,572
自己株式の変動		△549	△45,884	16,341		△30,092		△30,092
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△477		477	—		—
子会社株式の売却による変動						—	△13,518	△13,518
所有者との取引額等合計	—	△170	△61,153	16,712	339	△44,272	△14,297	△58,569
2022年12月31日残高	23,370	11,630	291,801	△2,162	37,675	362,314	24,726	387,040

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、本社に製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、また、中核グループ企業が中心となって国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、事業部及び中核グループ企業を基礎とした製品別のセグメントから構成されております。

当社グループは、半導体材料、ディスプレイ材料、エッジコンピューティング関連等を製造販売しております「デジタルソリューション事業」、バイオプロセス材料や診断薬、創薬支援サービスを提供しております「ライフサイエンス事業」及び自動車やOA機器・アミューズメント用途等のABS樹脂等を製造販売しております「合成樹脂事業」の3つを報告セグメントとしております。

なお、「デジタルソリューション事業」は、製品及びサービスの性質、生産過程の性質及び市場等の経済的特徴の類似性に基づき、複数セグメントを集約した上で報告セグメントとしております。

報告セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している方法と同一であります。

各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
デジタルソリューション事業	<半導体材料事業> リソグラフィ材料（フォトレジスト、多層材料）、実装材料、洗浄剤、CMP材料、等 <ディスプレイ材料事業> カラー液晶ディスプレイ材料、有機ELディスプレイ材料、等 <エッジコンピューティング事業> 耐熱透明樹脂及び機能性フィルム、光造形、等
ライフサイエンス事業	診断・研究試薬および同材料、バイオプロセス材料、創薬支援サービス、等
合成樹脂事業	ABS樹脂、AES樹脂、AS樹脂、ASA樹脂等の合成樹脂

(2) 報告セグメントの収益及び損益

当社グループの報告セグメントに関するセグメントの情報は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	デジタル ソリューション	ライフ サイエンス	合成樹脂				
外部顧客からの売上収益	123,289	53,320	70,664	9,322	256,594	△0	256,594
セグメント損益 (コア営業利益) (注3)	36,334	3,840	5,050	816	46,041	△3,751	42,289

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、接着剤等の製造・販売の事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△3,751百万円には、各セグメントに配賦されない全社損益等が含まれております。

3. セグメント損益は営業利益から事業構造改革から生じる損失等の非経常的な要因により発生した損益を控除したコア営業利益で表示しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	デジタル ソリューション	ライフ サイエンス	合成樹脂				
外部顧客からの売上収益	135,075	93,047	72,250	12,583	312,956	—	312,956
セグメント損益 (コア営業利益) (注3)	26,692	6,689	1,281	182	34,845	△3,334	31,511

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、接着剤等の製造・販売の事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△3,334百万円には、各セグメントに配賦されない全社損益等が含まれております。

3. セグメント損益は営業利益から事業構造改革から生じる損失等の非経常的な要因により発生した損益を控除したコア営業利益で表示しております。

セグメント損益から、税引前四半期利益への調整は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
セグメント損益	42,289	31,511
減損損失戻入	1,175	—
事業構造改革費用	—	△86
固定資産売却損	—	△222
子会社出資金評価損	△1,411	—
子会社株式売却益	—	1,020
その他	48	5
営業利益	42,101	32,228
金融収益	2,255	3,522
金融費用	△1,217	△2,463
税引前四半期利益	43,139	33,286

(追加情報)

当社連結子会社Crown Bioscience, Inc.によるIndivumed GmbHのサービス事業 (IndivuServ business) 買収

当社は、2022年12月23日開催の取締役会で、当社連結子会社Crown Bioscience, Inc. (当社連結子会社Crown Bioscience Internationalの子会社) がIndivumed GmbH (以下、売主) よりサービス事業 (IndivuServ business) を取得する契約の締結を決議し、Crown Bioscience, Inc. が、2022年12月29日付で当該契約を締結しました。

当該契約に基づく取得は、2023年4月に実行予定です。

取得価額は、事業価値180百万ユーロを基準とすることで売主と合意しており、取得時点の対象事業の運転資本、有利子負債、その他の資産負債等を考慮し、調整を行った上で確定する予定です。

当該取得が当社グループに与える影響につきましては、現在精査中です。